

## 全国銀行の平成24年度中間決算の状況(単体ベース)

### 1. 損益状況

#### (1) 資金運用益

資金運用収益は、貸出金利の低下により貸出金利息が減少したことから、4兆7,983億円(前中間期比1,628億円、3.3%減)となった。資金調達費用は、預金金利の低下により預金利息が減少したことから、8,419億円(同457億円、5.1%減)となった。

この結果、**資金運用益**(資金運用収益－資金調達費用)は、3兆9,564億円(同1,171億円、2.9%減)となった。

#### (2) 役務取引等収支

**役務取引等収支**は、8,224億円(同75億円、0.9%増)となった。

#### (3) 経常利益

経常収益は、国債等債券の関係収益が増加したものの、資金運用収益が減少したことから、7兆8,382億円(同1,089億円、1.4%減)となった。

経常費用は、株価下落に伴い株式等償却が大幅に増加したことから、6兆2,572億円(同3,155億円、5.3%増)となった。

この結果、**経常利益**は、1兆5,809億円(同4,244億円、21.2%減)と4年ぶりに減益となった。

#### (4) 中間純利益

**中間純利益**は、1兆1,742億円(同2,010億円、14.6%減)と2年連続で減益となった。

#### (5) 業務純益

参考までに**業務純益**をみると、2兆7,266億円(同1,043億円、4.0%増)と2年ぶりに増益となった。

(注1) 平成24年度中間決算における**全国銀行**とは、都市銀行6行（みずほ、三菱東京UFJ、三井住友、りそな、みずほコーポレート、埼玉りそな）、地方銀行64行、地方銀行Ⅱ（第二地方銀行協会加盟銀行）41行、信託銀行4行（三菱UFJ信託、みずほ信託、三井住友信託、野村信託）、新生銀行、あおぞら銀行の117行である。

(注2) 平成24年度中間期中、次のとおり合併があった。

- ・ 4月1日 中央三井信託銀行、住友信託銀行と中央三井アセット信託銀行  
（合併後：三井住友信託銀行）
- ・ 9月18日 十六銀行と岐阜銀行（合併後：十六銀行）

上記合併に伴い、業態別の計数の算出にあたっては遡及調整を行うなど必要な処理を行っている。

(注3) 平成23年度中間期、平成23年9月末および平成24年3月末計数に発表後訂正があった場合には、その訂正後の計数（「全国銀行(中間)財務諸表分析」掲載・訂正の計数）を使用している。

## (第1表) 損益状況

(単位:億円、%)

	平成24年度中間期 (117行ベース)		
	計数	前中間期比	増減率
経常収益	78,382	△1,089	△1.4
資金運用収益	47,983	△1,628	△3.3
役務取引等収益	13,033	175	1.4
特定取引収益	1,926	△317	△14.1
その他業務収益	10,624	940	9.7
その他経常収益	3,647	△173	△4.5
信託報酬	1,167	△86	△6.9
経常費用	62,572	3,155	5.3
資金調達費用	8,419	△457	△5.1
役務取引等費用	4,809	100	2.1
特定取引費用	47	△13	△21.1
その他業務費用	2,183	△1,264	△36.7
営業経費	33,913	△201	△0.6
その他経常費用	13,199	4,990	60.8
経常利益	15,809	△4,244	△21.2
(資金運用益)	(39,564)	(△1,171)	(△2.9)
(業務純益)	(27,266)	(1,043)	(4.0)
特別利益	204	49	31.3
特別損失	431	△263	△37.9
税引前中間純利益	15,582	△3,932	△20.2
法人税、住民税及び事業税	3,755	1,108	41.9
法人税等調整額	84	△3,031	△97.3
中間純利益	11,742	△2,010	△14.6

〔参考1〕銀行単位の決算状況

(単位:行)

	黒字行			赤字行	
		増益行	黒字転換行	減益行	
経常利益	115 (118)	39 (72)	1 (3)	74 (43)	2 (1)
中間純利益	115 (117)	40 (58)	2 (2)	72 (57)	2 (2)
業務純益	116 (118)	57 (42)	0 (1)	58 (75)	1 (1)

(注) ( ) 内は平成23年度中間期(119行ベース)の実績。

〔参考2〕経常利益の内訳(業態別)

(単位:億円)

	全国銀行	都市銀行	地方銀行	地方銀行Ⅱ	信託銀行
資金運用益	39,564 (△1,171)	16,936 (△461)	15,522 (△499)	4,495 (△140)	2,038 (△135)
役務取引等収支	8,224 (75)	5,066 (93)	1,888 (△25)	318 (△1)	883 (12)
特定取引収支	1,879 (△305)	1,632 (△275)	16 (△2)	— (—)	112 (△43)
その他業務収支	8,442 (2,204)	5,842 (1,420)	1,414 (469)	445 (116)	638 (89)
その他経常収支	△9,552 (△5,163)	△6,130 (△3,571)	△2,041 (△991)	△649 (△135)	△750 (△400)
信託報酬	1,167 (△86)	116 (△13)	3 (△0)	— (—)	1,047 (△73)
営業経費	33,913 (△201)	14,704 (35)	12,201 (△213)	3,646 (△63)	2,834 (△14)
経常利益	15,809 (△4,244)	8,759 (△2,843)	4,601 (△835)	963 (△96)	1,134 (△537)
中間純利益	11,742 (△2,010)	6,822 (△1,370)	3,021 (△428)	698 (△1)	838 (△303)
(参考) 業務純益	27,266 (1,043)	15,653 (639)	7,144 (249)	1,830 (64)	2,227 (△85)

(注) 上段は平成24年度中間期計数、下段( )内は前中間期比増減額。

〔参考3〕 経常利益・中間純利益・業務純益の推移

(単位:億円)

	経常利益	中間純利益	業務純益
平成 15 年度中間期	2,639	△5,951	30,821
平成 16 年度中間期	10,580	3,999	39,621
平成 17 年度中間期	22,860	21,233	30,643
平成 18 年度中間期	22,343	20,976	25,579
平成 19 年度中間期	17,636	12,186	25,584
平成 20 年度中間期	4,173	4,824	20,177
平成 21 年度中間期	9,934	8,686	23,935
平成 22 年度中間期	19,993	16,284	28,076
平成 23 年度中間期	20,053	13,751	26,223
平成 24 年度中間期	15,809	11,742	27,266

## 2. リスク管理債権額（銀行勘定）

平成24年9月末におけるリスク管理債権の総額（破綻先債権額、延滞債権額、3カ月以上延滞債権額および貸出条件緩和債権額の合計）は、11兆4,992億円（前期末比529億円、0.5%増）となった。

また、貸出金総額に占める割合は、平成24年3月末と同じ2.50%となった。

### 〔第2表〕リスク管理債権額（銀行勘定）

（単位：億円、%）

	平成24年9月末（117行ベース）		
	計数	前期末比	増減率
破綻先債権額	5,237	△93	△1.7
延滞債権額	83,225	523	0.6
3カ月以上延滞債権額	1,401	△67	△4.6
貸出条件緩和債権額	25,125	166	0.7
リスク管理債権総額	114,992	529	0.5
（貸出金総額に対する比率）	（2.50）	（0.00）	

（注）前期末比とは、平成24年3月末計数との比較である。以下同じ。

### 〔参考4〕金融再生法第7条にもとづく「資産の査定」額（銀行勘定）

（単位：億円、%）

	平成24年9月末（117行ベース）		
	計数	前期末比	増減率
破産更生債権	18,995	△591	△3.0
危険債権	72,064	723	1.0
要管理債権	26,528	98	0.4
正常債権	4,758,496	11,037	0.2

### 〔参考5〕金融再生法開示債権の比率（銀行勘定）（業態別）

（単位：%）

	全国銀行	都市銀行	地方銀行	地方銀行Ⅱ	信託銀行
金融再生法開示債権比率	2.41	1.86	3.02	3.78	0.90

（注）金融再生法開示債権比率＝（破産更生債権＋危険債権＋要管理債権）÷（破産更生債権＋危険債権＋要管理債権＋正常債権）

### 3. 利回り・利鞘（国内業務）

国内業務部門の利回りをみると、**預貸金利鞘**は、貸出金利回り(A)が0.10%ポイント低下し、預金債券等原価(C)が0.05%ポイント低下したことから、0.05%ポイント縮小して0.46%となった。

一方、**総資金利鞘**は、資金運用利回り(B)が0.09%ポイント低下し、資金調達原価(D)が0.05%ポイント低下したことから、0.04%ポイント縮小して0.15%となった。

(第3表) 資金運用利回り・資金調達原価および利鞘（国内業務）

(単位: %、ポイント)

	平成24年度 中間期 (117行ベース)	前中間期比
貸出金利回り (A)	1.51	△0.10
有価証券利回り	0.70	△0.05
コールローン等利回り	0.47	△0.07
資金運用利回り (B)	1.15	△0.09
預金債券等利回り	0.09	△0.02
預金利回り	0.09	△0.02
経費率	0.97	△0.03
人件費率	0.42	△0.01
物件費率	0.49	△0.02
預金債券等原価 (C)	1.05	△0.05
コールマネー等利回り	0.43	△0.04
資金調達原価 (D)	1.00	△0.05
預貸金利鞘 (A) - (C)	0.46	△0.05
総資金利鞘 (B) - (D)	0.15	△0.04

## 4. 主要勘定（末残）

### (1) 資金調達

**預金**は、615兆7,105億円（前期末比1兆14億円、0.2%減）、**譲渡性預金**は、51兆6,692億円（同3兆3,897億円、7.0%増）となった。

### (2) 資金運用

**貸出金**は、459兆8,910億円（同1兆6,368億円、0.4%増）、**有価証券**は、272兆8,288億円（同5兆8,232億円、2.1%減）となった。

### (3) その他

**純資産の部合計**は、42兆1,743億円（同622億円、0.1%増）となった。

なお、参考までに**繰延税金資産**の残高をみると、2兆2,256億円（同731億円、3.4%増）となった。

## （第4表）主要勘定（末残）

（単位：億円、%）

	平成24年9月末（117行ベース）		
	計数	前期末比	増減率
預金	6,157,105	△10,014	△0.2
譲渡性預金	516,692	33,897	7.0
債券	4,648	△552	△10.6
コールマネー等	224,118	14,585	7.0
借入金	318,973	△47,901	△13.1
調達勘定計	7,221,538	△9,986	△0.1
負債合計	8,230,761	△55,085	△0.7
純資産合計	421,743	622	0.1
貸出金	4,598,910	16,368	0.4
有価証券	2,728,288	△58,232	△2.1
コールローン等	178,120	11,099	6.6
運用勘定計	7,505,319	△30,765	△0.4
資産合計	8,652,504	△54,463	△0.6

（注）「コールマネー等」には売渡手形、「コールローン等」には買入手形を含む。

## 〔参考6〕繰延税金資産の残高（業態別）

（単位：億円、%）

	全国銀行	都市銀行	地方銀行	地方銀行Ⅱ	信託銀行
繰延税金資産	22,256 (3.4)	11,108 (5.8)	6,198 (3.8)	2,793 (△5.2)	1,662 (3.4)

（注）上段は平成24年9月末計数、下段（ ）内は前期末比増減率。

## 5. 自己資本比率

国際統一基準採用行（単体ベース）では15.83%（前期末比0.22%ポイント上昇）、国内基準採用行（単体ベース）では11.27%（同0.18%ポイント低下）となった。

（注1）連結財務諸表規則にもとづく重要性の原則を適用して、都市銀行1行、信託銀行1行、地方銀行1行、地方銀行Ⅱ4行の計7行は、連結財務諸表を作成していない。

（注2）バーゼルⅡの信用リスクの基礎的内部格付手法を適用している銀行は、単体19行（国際統一基準採用行10行、国内基準採用行9行）、連結18行（国際統一基準採用行10行、国内基準採用行8行）。

### （第5表）自己資本比率

（単位：%、ポイント）

		平成24年度中間期	前期末比
国際統一基準採用行 (16行)	単体ベース	15.83	0.22
	連結ベース	15.67	0.25
国内基準採用行 (101行)	単体ベース	11.27	△0.18
	連結ベース	11.55	0.14

（注）各行の速報値の単純平均。

## 6. 営業経費、職員数・店舗数等

営業経費は、3兆3,913億円（前中間期比201億円、0.6%減）となった。

職員数・店舗数をみると、職員数は30万2,579人（前中間期末比2,569人、0.8%減）、店舗数は1万3,452店（同37店、0.3%減）となった。

### （第6表）営業経費、職員数・店舗数等

#### （1）営業経費

（単位：億円、%）

	平成24年度中間期 (117行ベース)	前中間期比	増減率
営業経費	33,913	△201	△0.6

#### （2）職員数・店舗数

（単位：人、店、%）

	平成24年9月末 (117行ベース)	前中間期末比	増減率
職員数	302,579	△2,569	△0.8
店舗数	13,452	△37	△0.3

（注）店舗数には、出張所を含む。

#### （3）銀行代理業者数

（単位：社（人）、店、%）

	平成24年9月末 (117行ベース)	前中間期末比	増減率
代理業者数	49	△5	△9.3
営業所等数	2,680	160	6.3

（注）上記の計数には、他の銀行の代理業者である銀行および銀行店舗を含む。

以 上

## 平成24年度中間決算の状況(連結ベース)

### 1. 損益状況

#### (1) 経常利益

経常利益は、1兆9,601億円（前中間期比3,071億円、13.5%減）と減益となった（増益34行、黒字転換1行、減益70行、赤字2行）。

#### (2) 中間純利益

中間純利益は、1兆3,514億円（同1,910億円、12.4%減）と減益となった（増益38行、黒字転換2行、減益65行、赤字2行）。

(注) 連結の計数は、連結財務諸表規則にもとづく重要性の原則を適用して、連結財務諸表を作成していない都市銀行1行、信託銀行1行、地方銀行1行、地方銀行Ⅱ4行および他の銀行の被連結銀行である地方銀行Ⅱ2行を除いた108行ベースで集計している。

(第1表) 連結損益状況

(単位:億円、%)

	平成24年度中間期(108行ベース)		
	計数	前中間期比	増減率
経常収益	91,288	△1,397	△1.5
資金運用収益	49,958	△1,666	△3.2
役員取引等収益	16,399	△205	△1.2
経常費用	71,687	1,674	2.4
資金調達費用	8,173	△311	△3.7
役員取引等費用	4,776	91	1.9
経常利益	19,601	△3,071	△13.5
税金等調整前中間純利益	19,521	△3,863	△16.5
法人税、住民税及び事業税	4,433	1,186	36.5
法人税等調整額	197	△3,185	△94.2
中間純利益	13,514	△1,910	△12.4

## 2. リスク管理債権額

平成24年9月末におけるリスク管理債権の総額（破綻先債権額、延滞債権額、3カ月以上延滞債権額および貸出条件緩和債権額の合計）は、12兆247億円（前期末比998億円、0.8%減）となった。

また、貸出金総額に占める割合は、0.02%ポイント低下して2.63%となった。

### （第2表）連結のリスク管理債権額

（単位：億円、%）

	平成24年9月末（108行ベース）		
	計 数	前期末比	増減率
破 綻 先 債 権 額	5,520	△16	△0.3
延 滞 債 権 額	84,592	△33	△0.0
3カ月以上延滞債権額	1,413	△260	△15.5
貸出条件緩和債権額	28,720	△690	△2.3
リスク管理債権総額	120,247	△998	△0.8
（貸出金総額に対する比率）	(2.63)	(△0.02)	

（注）信託勘定は含まない。

### （第3表）連結主要勘定（末残）

（単位：億円、%）

	平成24年9月末（108行ベース）		
	計 数	前期末比	増減率
預 金	6,111,618	△12,671	△0.2
譲 渡 性 預 金	505,411	35,081	7.5
債 券	4,621	△552	△10.7
コ ー ル マ ネ ー 等	228,421	15,001	7.0
借 用 金	332,863	△52,987	△13.7
調 達 勘 定 計	7,182,935	△16,127	△0.2
負 債 合 計	8,507,203	△44,752	△0.5
株 主 資 本 合 計	399,891	6,637	1.7
その他の包括利益累計額合計	18,701	△3,984	△17.6
少 数 株 主 持 分	51,748	△4,225	△7.5
純 資 産 合 計	470,411	△1,565	△0.3
貸 出 金	4,574,705	6,893	0.2
有 価 証 券	2,652,226	△55,100	△2.0
コ ー ル ロ ー ン 等	184,487	10,710	6.2
運 用 勘 定 計	7,411,419	△37,497	△0.5
資 産 合 計	8,977,616	△46,317	△0.5

### 3. 連結キャッシュ・フローの状況（間接法）

営業活動によるキャッシュ・フローは、4兆3,999億円の支出となり、投資活動によるキャッシュ・フローは、2兆4,709億円の収入となった。また、財務活動によるキャッシュ・フローは、1兆8,953億円の支出となった。

この結果、現金及び現金同等物中間期末残高は、25兆1,328億円となった。

（第4表）連結キャッシュ・フロー（間接法）

（単位：億円）

	平成24年度中間期（108行ベース）	
	計 数	前中間期比
営業活動によるキャッシュ・フロー	△43,999	△20,150
投資活動によるキャッシュ・フロー	24,709	70,276
財務活動によるキャッシュ・フロー	△18,953	△5,852
現金及び現金同等物中間期末残高	251,328	9,917

以 上